



平成29年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月8日

上場会社名 株式会社 妙徳

上場取引所 東

コード番号 6265 URL <https://www.convum.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊勢 幸治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 泉 陽一

TEL 03-3759-1491

四半期報告書提出予定日 平成29年5月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	587	3.5	98	22.6	99	21.7	69	31.1
28年12月期第1四半期	567	5.8	80	28.4	82	28.0	52	29.4

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 85百万円 (194.5%) 28年12月期第1四半期 29百万円 (65.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	9.46	9.44
28年12月期第1四半期	7.23	7.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	4,281	3,876	90.0
28年12月期	4,239	3,819	89.6

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 3,853百万円 28年12月期 3,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		4.00		4.00	8.00
29年12月期					
29年12月期(予想)		4.00		4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,173	3.4	139	1.2	142	3.0	83	13.9	11.45
通期	2,384	5.9	276	2.2	285	0.3	175	5.9	23.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期1Q	8,285,000 株	28年12月期	8,285,000 株
-----------	-------------	---------	-------------

期末自己株式数

29年12月期1Q	974,613 株	28年12月期	974,613 株
-----------	-----------	---------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期1Q	7,310,387 株	28年12月期1Q	7,304,673 株
-----------	-------------	-----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資に改善がみられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら一方では、中国をはじめとした新興国経済の成長鈍化や、世界情勢の不安定感など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、コア技術である真空技術に特化した研究開発に取り組むとともに、顧客ニーズを的確に捉えた新製品の迅速な開発と市場投入により、売上拡大に取り組んでまいりました。生産面においては、引き続き製品原価率の低減や、顧客満足度向上を目指した短納期での生産体制の構築などに取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は587,260千円（前年同期比103.5%）、連結経常利益は99,987千円（前年同期比121.7%）親会社株主に帰属する四半期純利益は69,191千円（前年同期比131.1%）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

半導体製造装置業界で回復してきた設備投資の需要に合わせて既存製品を拡販し、併せて食品梱包装置業界への新製品の拡販に注力してまいりました。この結果、売上高は412,890千円（前年同期比99.5%）となりました。営業利益については80,792千円（前年同期比119.9%）となりました。

② 韓国

政治経済の不透明感が高まる状況で推移いたしました。半導体製造装置業界や液晶パネル製造装置業界での新製品の採用などにより、売上高は103,192千円（前年同期比115.9%）となりました。営業利益については15,071千円（前年同期比269.1%）となりました。

③ 中国

スマートフォン関連の製造設備業界及び車載向け電子部品業界へ、注力して拡販活動に取り組んだことなどにより、売上高は43,547千円（前年同期比102.1%）となりました。営業利益については5,308千円（前年同期比93.2%）となりました。

④ その他

タイ国を中心に、東南アジア市場への拡販活動を推し進めてまいりました。また、昨年設立した米国子会社により、米国市場での新規顧客の開拓に努めてまいりました。この結果、売上高は27,630千円（前年同期比132.4%）となりました。営業利益については、米国子会社の初期投資費用等の影響もあり、2,174千円の営業損失（前年同期は2,099千円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べ18,470千円増加し、2,008,153千円となりました。これは主として、現金及び預金が35,846千円増加したのに対し、流動資産のその他が12,809千円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ23,701千円増加し、2,273,363千円となりました。これは主として、無形固定資産が8,813千円、投資有価証券が15,155千円増加したことによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ42,172千円増加し、4,281,516千円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ21,251千円減少し、244,168千円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が10,746千円、流動負債のその他が29,312千円増加したのに対し、未払法人税等が44,513千円、賞与引当金が17,470千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ6,971千円増加し、161,191千円となりました。これは主として、長期繰延税金負債が4,306千円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ14,280千円減少し、405,359千円となりました。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ56,452千円増加し、3,876,157千円となりました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益が69,191千円、その他有価証券評価差額金が9,228千円増加したのに対し、剰余金の配当の支払により29,241千円減少したことによります。

その結果、自己資本比率は90.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの連結業績予想につきましては、第1四半期の実績に鑑み、変更をいたしておりませんが、今後、業績予想を修正する必要があると判断した場合には、適時に修正開示をいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の改修可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,040,870	1,076,716
受取手形及び売掛金	484,390	388,604
電子記録債権	10,470	112,943
製品	152,277	166,825
仕掛品	98,391	89,617
原材料	126,380	118,985
繰延税金資産	39,132	29,491
その他	38,224	25,415
貸倒引当金	△454	△446
流動資産合計	1,989,682	2,008,153
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,453,014	1,455,038
減価償却累計額	△672,650	△685,571
建物及び構築物(純額)	780,364	769,466
機械装置及び運搬具	825,786	855,517
減価償却累計額	△647,608	△656,133
機械装置及び運搬具(純額)	178,178	199,384
土地	737,728	738,685
その他	620,740	620,671
減価償却累計額	△507,743	△519,035
その他(純額)	112,996	101,635
有形固定資産合計	1,809,267	1,809,173
無形固定資産	132,720	141,533
投資その他の資産		
投資有価証券	235,836	250,992
繰延税金資産	1,751	2,259
その他	70,085	69,404
投資その他の資産合計	307,673	322,656
固定資産合計	2,249,661	2,273,363
資産合計	4,239,344	4,281,516

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,222	51,969
未払法人税等	70,606	26,092
賞与引当金	48,770	31,300
役員賞与引当金	—	683
繰延税金負債	11	—
その他	104,809	134,122
流動負債合計	265,420	244,168
固定負債		
退職給付に係る負債	127,319	129,658
繰延税金負債	9,390	13,697
その他	17,510	17,835
固定負債合計	154,220	161,191
負債合計	419,640	405,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,125	748,125
資本剰余金	949,355	949,355
利益剰余金	2,245,495	2,285,445
自己株式	△231,565	△231,565
株主資本合計	3,711,410	3,751,359
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,952	69,180
為替換算調整勘定	26,903	32,766
その他の包括利益累計額合計	86,855	101,947
新株予約権	8,389	8,115
非支配株主持分	13,048	14,734
純資産合計	3,819,704	3,876,157
負債純資産合計	4,239,344	4,281,516

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	567,364	587,260
売上原価	247,749	246,115
売上総利益	319,614	341,145
販売費及び一般管理費	238,855	242,146
営業利益	80,758	98,998
営業外収益		
受取利息	529	367
受取地代家賃	3,208	2,291
その他	462	299
営業外収益合計	4,200	2,959
営業外費用		
売上割引	24	107
為替差損	1,174	123
減価償却費	1,499	1,464
その他	99	274
営業外費用合計	2,798	1,970
経常利益	82,160	99,987
特別利益		
固定資産売却益	522	757
新株予約権戻入益	—	274
特別利益合計	522	1,031
特別損失		
固定資産除却損	258	—
特別損失合計	258	—
税金等調整前四半期純利益	82,424	101,019
法人税、住民税及び事業税	22,294	21,036
法人税等調整額	6,770	9,332
法人税等合計	29,065	30,369
四半期純利益	53,359	70,649
非支配株主に帰属する四半期純利益	576	1,458
親会社株主に帰属する四半期純利益	52,782	69,191

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	53,359	70,649
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,940	9,228
為替換算調整勘定	△21,274	5,947
その他の包括利益合計	△24,215	15,175
四半期包括利益	29,144	85,824
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,999	84,282
非支配株主に係る四半期包括利益	145	1,542

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	414,793	89,031	42,671	546,497	20,866	567,364
セグメント間の内部売上高 又は振替高	58,521	11,556	617	70,695	—	70,695
計	473,315	100,588	43,289	617,193	20,866	638,059
セグメント利益	67,358	5,601	5,699	78,658	2,099	80,758

(注) 「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない所在地セグメントであり、「タイ」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	78,658
「その他」の区分の利益	2,099
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	80,758

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	412,890	103,192	43,547	559,630	27,630	587,260
セグメント間の内部売上高 又は振替高	84,715	12,933	—	97,648	—	97,648
計	497,606	116,126	43,547	657,279	27,630	684,909
セグメント利益	80,792	15,071	5,308	101,173	△2,174	98,998

(注) 「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない所在地セグメントであり、「タイ」及び「米国」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	101,173
「その他」の区分の利益	△2,174
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	98,998